



## 技術評価書

申込者：JFE条鋼株式会社 代表取締役社長 渡邊 誠  
東京都港区新橋五丁目 11 番 3 号

技術名称：ネジプレート定着工法 RC 構造設計指針(2017 年)

技術概要： 本工法は、GBRC 性能証明 第 07-18 号 改 2(2011 年 6 月 1 日)取得後、SABTEC 技術評価 12-01(2012 年 5 月 22 日)、12-01R1(2013 年 11 月 27 日)、12-01R2(2015 年 5 月 29 日)、12-01R3(2016 年 9 月 23 日)を取得している。

今回の技術評価は、RCS 混合構造設計指針が別途作成されたことより、RC 構造を適用対象とした「RC 構造設計指針(2017 年)」について行われている。今回の技術評価に際し、本工法「標準製造・施工要領書」3.3.1 無機グラウト材の一部について混練り要領を変更している。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2017 年 4 月 25 日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構  
建築構造技術審議委員会  
委員長 窪田 敏行

### 記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。  
ネジプレート定着工法 RC 構造設計指針(2017 年)および説明資料  
この資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。この資料のほかに、本工法 標準製造・施工要領書および関連資料が提出されている。

評価内容： 申込者提案のネジプレートは、鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷せず、本工法設計指針によって設計されるネジプレートを用いた異形鉄筋定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。